



七夕まつり(夏)



城東むかし町(秋)
城東地区の旧出雲街道が歩行者天国となり、時代行列や芝居小屋などが催されます



城東 缶風車・風鈴夏まつり(夏)



津山まつり(秋)
各町内からだんじりが出動して、旧出雲街道を練り歩きます

城東地区では、地域の人たちが中心となって、さまざまにまちづくりの催しや祭りが行われています。

城東地区のまちづくり

まずは、住んでよかったと思えるまちに

来てよかったといわれる城東へ

平成14年に有志が集まって結成したまちづくりの会を母体として、今年3月、城東地区(以下、「地区」)の全ての町内会が参加する「城東まちづくり協議会」を改めて結成し、現在、まちづくりを進めています。人に訪れてもらえる地区にするためには、まずは、住んでいる人が「住んでよかった」と思えるまちでなければなりません。

そこで、地域の「じば子(じいちゃん・ばあちゃん・子ども)」にまちづくりに参加してもらえるように、3年前から「じば子の文化祭」を開催しています。この祭は、じいちゃん・ばあちゃんが幼い頃遊んだ竹馬やコマ回しなどを子どもに教えることで、それぞれが主役となり、喜びを感じられる場となっています。

さらに、誰もが集える憩いの場所「じば子の家」を、空き家を利用して整備することにしました。さまざまな世代の人が集まりふれあうことで、まとまりと活力が強くなっていきます。それを「このまちに住んでよかった」という思いにつなげたいですね。

おもてなしの心を

地区の人には、城東地区に住んでいるという誇りを持ってほしいと思っています



城東まちづくり協議会
会長 本多 正志さん

す。まちの歴史などにも関心を持ち、もっと深くこの地区のことを知ってもらいたいのです。そして、地区の人みんなが、訪れた人に地元言葉で気軽に地区の案内ができることがわたしの理想です。観光などで訪れる人たちに、地元の人とふれあえて良かったと思ってもらえるような地区にしていきたいですね。

また、地区で催しを行う際は、自分たちも楽しむのと併せて、訪れた人への「おもてなしの心」を忘れないことが大切だと思っています。

重伝建をきっかけに

これまでのまちづくりは、地域が中心となって考え、市からアドバイスをもらって進めてきました。重伝建をきっかけに、市と地区が一緒になって一層盛り上げていきたいです。

現在は、この地区の空き家の活用を考えています。今後は、空き家を飲食店など、たくさんの人に喜んでもらえる場所にしたいです。そして、ぜひ、たくさんの人に訪れてもらいたいですね。



阿波地域の新鮮野菜

⑦ 市指定史跡
刈田家住宅及び酒造場
江戸時代以来の酒造場



看板と杉玉
杉玉は、酒の神様への感謝を表すもので、昔は新酒ができると新しい杉玉に付け替えていました

⑥ 河野美術館
河野馨さん(城東地区出身画家)の作品を展示している美術館。町家と洋風の病院建築が融合



西地区「町並み」これから整備する地区



今後も、城東地区のまちづくりに参加していきたいですね

たくさん人が集まる「城東虹の家」の雰囲気が好きです。城東地区が、もっと人の集まる場所になるといいですね



<p>土産</p> <p>① 京御門</p> <p>桐葉</p>	<p>土産</p> <p>① フランセ</p> <p>木の輪バウム (津山小麦と加茂五葉)</p>	<p>土産</p> <p>① なまくらや</p> <p>津山シヨウガ せんべい</p>	<p>食事</p> <p>① ひとやすみ</p> <p>日替りランチ</p>	<p>土産</p> <p>① 城東虹の家</p> <p>ごんご竹製品など 冷たい飲み物もあり</p>
----------------------------------	---	---	--	--